

# 県と市町村との総合教育懇談会の懇談内容について

教育政策課

1 開催日時：令和2年5月28日（木） 13時～14時50分

2 議題：学校は閉じて、学びを止めないために

(1) 【有識者による講演】（信州大学教育学部 佐藤 和紀 助教）

○ オンラインを活用した学習支援

- ・ カナダなどでみるオンライン授業の先進事例
- ・ クラウド時代・After/With コロナ時代は対面授業＋オンライン学習がスタンダードである

(2) 【県内の取組事例の紹介】（伊那市立高遠中学校 足助 武彦 教諭）

○ 伊那市での臨時休業期間における取組事例

- ・ オンライン授業をどのように実現したか
- ・ オンライン授業をどのように成立させるか

(3) 【長野県教育委員会説明】（学びの改革支援課 曾根原 課長）

○ 新時代に対応した学びの継続のための学習環境の実現

- ・ ICT環境の整備や教員のICTスキルの向上に向けたロードマップについて

(4) 【意見交換】

○ 当日出席者の主な発言

- ・ 教員のスキルアップについては県がリーダーシップをとり対応して欲しい。また、家庭の理解を得ることも必要（大町市教育長）
- ・ 端末は時間がたてば整備できるが、教員のスキル向上はここで一気に上げるチャンスである。（長野市長）
- ・ 教員が変わるためにはまず実際に体験してみることが大事で、伊那市はZoomの研修をあえてオンラインで行った。授業の中でその体験が生きる。（足助教諭）
- ・ 情報モラルについては学習の中で考える必要がある。現状はOECDの調査結果にあるようICT機器を家庭で娯楽に使うケースがほとんどのため指導ができないが、学校の中でICT機器を使っていくことで情報モラル教育を進めるべき。（佐藤助教）
- ・ 伊那市のように「ICT活用教育推進センター」を県で設置してはどうか。（阿部知事）
- ・ これから通常授業となった中でどういうカリキュラムが組めるか、これまでのような集団で一律の一斉学習の場という考えを変えるいいタイミングと思っている。（長野市教育長）